

体育複合施設建設事業の凍結・中止を求める陳情

平成25年11月21日

太宰府市議会議長 橋本 健 様

陳情者 氏名 体育館建設に反対する市民の会

体育複合施設建設事業の凍結・中止を求める陳情

1 主旨

多くの市民の声を聞き、体育複合施設建設事業の中止を決断し、市長への要請をお願いします。

2 理由

市は県の看護学校跡地に新たに二十二億円をかけて体育複合施設を建設しようとしています。その上、毎年の維持管理費用については最大八千六百万円にもなるということです。

今春、購入した旧国土館大跡とこの新築計画分を含めると、太宰府市内には4つの体育館ができることとなります。どのような必要性があるのでしょうか。観客席のある体育館が必要だとしても、年に何回使う等、具体的な利用の構想、計画があるのでしょうか。

この計画には、大きな財政負担が伴います。体育施設をよく利用されている方でも、規模自体は従来とあまり変わらない施設の建設に二十二億円とその先、毎年かかる数千万円もの維持費用の負担を考えれば、無条件で賛成だとはならないはずです。七万市民にとって、本当に必要で、今、作らなければならないのでしょうか。

当市の財政は決して豊かではありません。平成24年度決算を見ても、年間予算規模が225億円ですが、そのうち借金や国 県からの交付金等を除く自前の財源は50%を下回る108億円にすぎません。すでに累積で約200億円以上の借金があり、毎年の返済、と利子支

払いの合計は27億円にも達しています。

私たちは、現在、そして近い将来の優先課題として、急速に進む少子高齢化対策としての子育て支援、高齢者等への福祉の充実、老朽化しつつある市の施設、道路、水道等のインフラの再整備。さらには渋滞対策や洪水、土砂崩れ等の防災対策だと考えています。

何よりも、一番の問題は市民の大多数がこの計画の内容、特に財政に対する負担について具体的に知らされていないことです。将来にわたる財政負担をとまなう事業である市政の重要事項に、多くの市民が参加できないまま進められていることです。

市長と市民の代表である議員の皆さんには、この計画に係る予算の執行停止、計画の凍結をした上で多くの市民の意見を聞き、見直しを行うとの決断をしていただくようお願いいたします。

3、この陳情に賛同する市民 **6,478** 名の署名を添えます。

以上